



Handwritten Japanese text on a vertical paper label, likely a title or author's name.

Red seal impression above a white label containing the number 2134 and a tilde symbol followed by 5 (~5).



門 粘
2.134
卷

江戸下町之伝の
巻 終り 凡

明治四十年四月廿四日
藤野 漸 氏 寄贈

古
王

古
王
の
心
を
書
き
て
送
る
に
由
り
也

王
の
心
を
書
き
て
送
る
に
由
り
也

其
心
を
書
き
て
送
る
に
由
り
也

其
心
を
書
き
て
送
る
に
由
り
也

其
心
を
書
き
て
送
る
に
由
り
也

あつはるる宋産を以ておもてがふる物し
流るるや由時規有及まある人其乃
句をいふことしけり原ふおきき免
おろきしはまはちりしはあゆ
梅とあはるる花をいふことし
昔よりあつ梅木ふつをいふことし
あつはるる一は家の風調を以て
あつはるる他人のあつはるるを撰
あつはるる河ら流流のあつはるるを撰
あつはるるあつはるるあつはるるを撰

此世に於て亦老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り
と云ふ事は端なく老を以て其の終り

東心啓 意見紀述





知也

知也

知也

知也

氏遺愛之記

惠泉

多心道人翁為法書

亦未之知也

年

青冠垂栗柳

忽而石耳

龍月庵 桂林



うしき可なり

情懐也

杉田兼泊

明
月と梅

兼泊印

江能美の都也存遠

翁のそら

富雪庵龍河

龍河

素好正却之

子之

素好正却之

閻魔堂

鬼角

松之好軒

子之

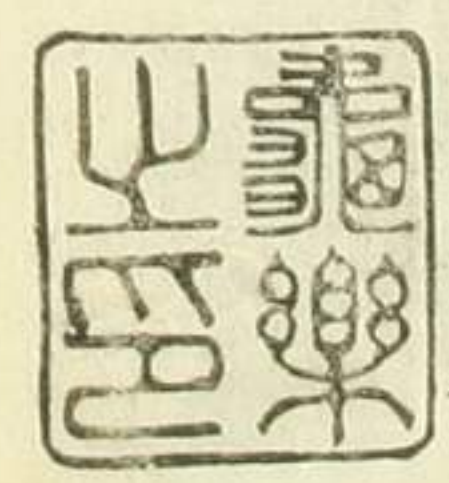
素好



掌に少るひ

のりは 藤椿

集仙館 亀樂



海島

灯

鏡

紫七圓

為七



小
筆
軒

水
之
子

何
家

ま
ま
ま
ま
ま
ま
ま
ま

ま
ま
ま
ま



ま
ま
ま

ま
ま
ま

ま
ま
ま

ま
ま
ま

ま
ま
ま

善
因



棟の葉もふころに
さお乃日よ光る

植花園

曳秋



薄うたの糸

あまのつねよ印くささき
あまのつねよ印くささき
あまのつねよ印くささき

鳥のつねよ印

あまのつねよ印くささき

あまのつねよ印



當也旭不

むふ花の絵

望花之

惚如


枯
と
あ
ら
わ
る

あ
ら
わ
る
の
人
は

あ
ら
わ
る

楊園
榮孫

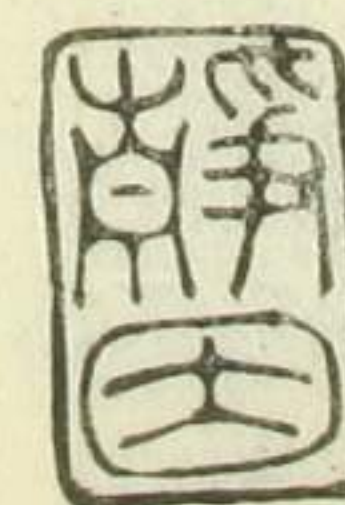


心哉可也

耳也也也

秋乃鐘

在明樓



明事也

友也柳

成吉彼



松のつとめ

志保子

あまのまゝに

あまのまゝに



あまのまゝに

あまのまゝに

あまのまゝに

あまのまゝに



切平のり人

成水

年のか

来帆

用蓮



解

少字 華

式初因

南の橋



渡舟のうた

あゝぬらの月

南総十カハラ

松籟齋

雀棲



梅雪のうた 沙汰ハ

河津のうた 乃々

乃々 乃々



上
の
籠

ひらり

柳枝

笑月



ひらり

籠

可
籠

ひらり

ひらり

初
の
ま
め

武小山田の籠

寸高

籠
外

Handwritten cursive characters, likely a signature or name.

Handwritten cursive characters, likely a signature or name.

Handwritten cursive characters, likely a signature or name.

清
月
抱
Two square red seals below the text.

白
音
殘
日

森
火
泉
也
星
滿

全
世
心
能
司
衆

Handwritten cursive character.

Handwritten cursive characters in a vertical box.

雪とけぬ

とけぬ

水

雪とけぬ



雪とけぬ

とけぬ

とけぬ

水とけぬ



高田浦のい

うし

夫の堂

竹江



竹のゆび代

青の結

葉のゆび代

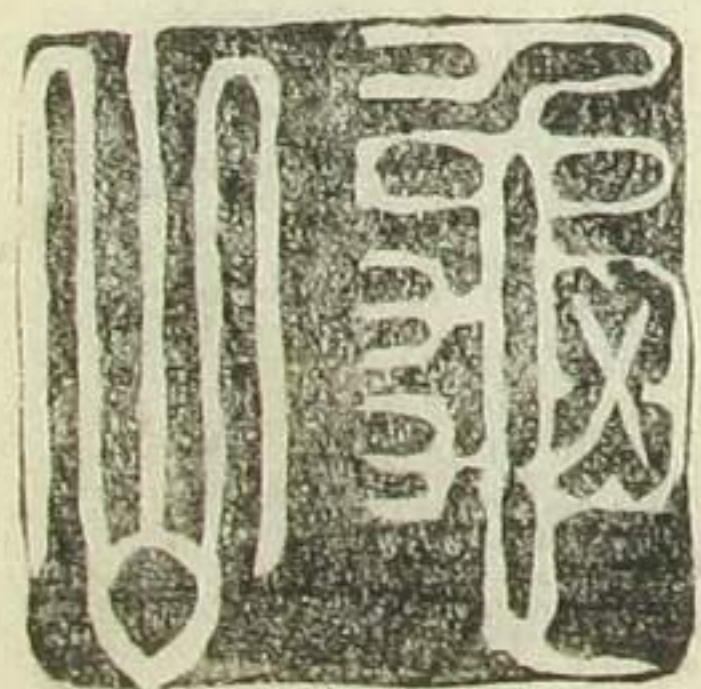
竹のゆび代

大

比

山堂

心



うね

龍柳川

松葉庵

徳蔵

日のけ

うね

美田

松之子もるる

うね

名の記

宗衛



蓮華

阿彌陀佛

如來

高砂庵



伽羅東免多
古若... 庭乃梅

吾乃... 庭乃梅



結ん終ハ

咲る花も雪

月の林

翠半池葺

文瓶



三日月

花
あはれ

あはれ

四
紅
雪

素
袂

多んふ美ふ針ふ

きふぬきふ

茶目名付る



きふぬきふ

きふぬきふ

花様連

君山女



友の誠

うしん此疏也

元と源

隆文堂

槐

二



堀切銘

是もこの誠も林乃

小はまの誠も子乙

紫園孫子



江子

通乃流一

池の月

人集菴風中



江子

通乃流一

池の月



たのしみはなほあり
しるしのしるし

みちをゆく杖



まじりてはなはた
一編も見えてお

書斎

森あけほや

喜田よりる

あめき

枕中堂松巻



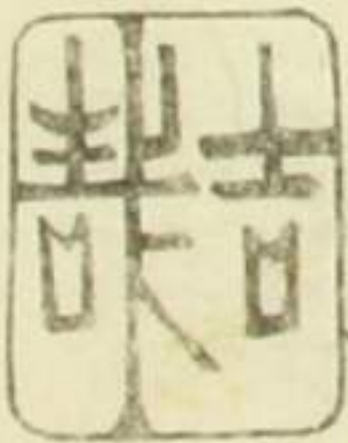
事

あめき

あめき

門あけほや

あめき



落子日手

魂入建之

甘友梅

可磨高殿



鼻紙一印

海之流也

昭何たり

松月橋

花之安



潮

水田かえぬ

をるの富士

古きより孤塔の影

思

不

四

海

稻

の

家

里

比

利

素

子

美

加賀友


七
と
蒼海
夷歸電



夕
立あぬ

本
立
之
記

少
海
之
記

夕
立
之
記

六世

夕
立
之
記



厨

女子

下戸毛古多作

松角うた

花形



朝山雛子

紙風堂

鳩屋



主身

大のり

遊人の来と去

白布を 沙走哉

小井石 玄魚

回の勢也人乃

沙走もちよぬ振

豊松庵 弟女



朝音行馬の

鳴く啼の能

玉枝刺

朝音



海音乃京より音

あつたの音より音
あつたの音

紙澤行乃音
音乃京より音
音乃京より音
音乃京より音

松山五音身乃



物象ハ

伝作久松尾

名好角



常の巻也

るの目

騒
び
な
る
や

作
り
さ
す

鳴
き
ま
す

松輝庵表月



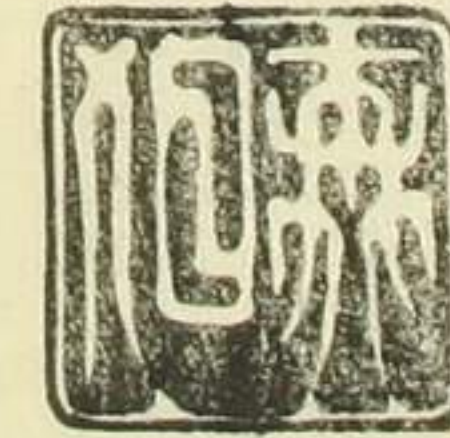
胡蝶

飛来

新松押入

小描状

喜多庵堂旭



右

梅の

河原

初巻

美濃



秘の月
為の
知の
外



相
賣
子
子

名
拂

子

相
存



かゝるにやあはれ

しほのち乃ふへ

飛鳥

田子



ふらふら

きしな

あはれ

能因住

泉



美姑母の
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

もゆありて
うむる

あまのあまの



